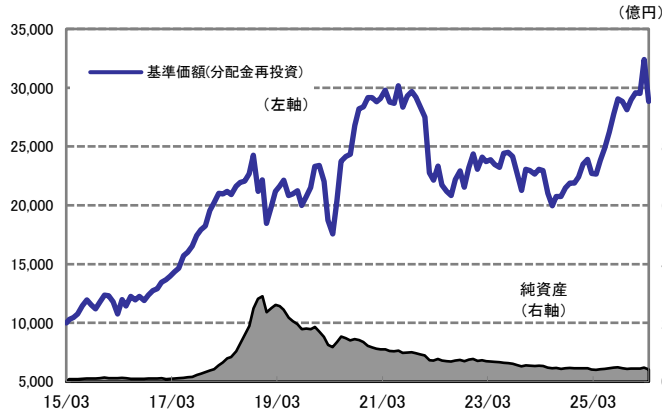


運用実績

2026年3月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 = 10,000として指数化: 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 28,765 円

※分配金控除後

純資産総額 41.5 億円

- 信託設定日 2015年3月12日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-11.0%
3ヵ月	-2.4%
6ヵ月	0.0%
1年	27.3%
3年	20.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 188.4%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年12月	5 円
2024年12月	5 円
2023年12月	5 円
2022年12月	5 円
2021年12月	5 円

設定来累計 55 円

設定来 = 2015年3月12日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年3月31日 現在

資産・市場別配分	
資産・市場	純資産比
株式	96.1%
東証プライム	75.7%
東証スタンダード	10.3%
東証グロース	10.1%
その他	-
株式先物	-
株式実質	96.1%
現金等	3.9%

・株式実質は株式に株式先物を加えた比率です。

業種別配分	
業種	純資産比
情報・通信業	21.1%
小売業	13.4%
不動産業	8.8%
その他金融業	8.1%
電気機器	7.3%
その他の業種	37.4%
その他の資産	3.9%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年3月31日 現在

銘柄	業種	市場	純資産比
トーセイ	不動産業	東証プライム	3.9%
プレミアグループ	その他金融業	東証プライム	3.8%
スギホールディングス	小売業	東証プライム	3.4%
ネットプロテクションズホールディングス	その他金融業	東証プライム	3.3%
長野計器	精密機器	東証プライム	3.3%
加賀電子	卸売業	東証プライム	3.2%
ビジョナル	情報・通信業	東証プライム	2.9%
FUJI	機械	東証プライム	2.9%
エアリンク	不動産業	東証スタンダード	2.7%
テラプロープ	電気機器	東証スタンダード	2.7%
合計			32.2%

組入銘柄数 : 60 銘柄

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号: 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。  
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

## 投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## 【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.946%(税抜年0.86%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## ＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

### 野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

＜受付時間＞ 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

＜受託会社＞野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## 先月の投資環境

○ 3月の国内株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が月間で11.19%下落し、月末に3,497.86ポイントとなりました。

○ 3月の国内株式市場は下落しました。月初には、米国とイスラエルがイランへの軍事攻撃を開始したことで、イランが原油輸送の要衝であるホルムズ海峡を事実上封鎖したと報じられました。これを受けて供給不安による原油価格の上昇が企業業績や景気の下押しにつながる懸念が高まり、株式市場は大きく下落しました。その後も、中東情勢の悪化に伴う物流停滞や原油価格の上昇を通じたインフレ圧力の強まりなどから、下落基調が続きました。中旬に入り、米国とイランとの停戦協議進展への期待が高まったことなどで反発する場面もありましたが、月末にかけては、イランによる和平案の拒否や、米国防総省がイランでの地上作戦を準備しているとの報道など、停戦協議の先行き不透明感が意識され、株式市場は再度下落し、月間でも大幅下落となりました。

○ 東証33業種で見ると、中東情勢悪化による原油価格高騰の恩恵を受ける鉱業など2業種が上昇しました。一方で、燃料費上昇による収益悪化が懸念された空運業など31業種が下落しました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ 月間の基準価額の騰落率は-11.01%となりました。保有上位銘柄ではネットプロテクションズホールディングスやFUJIなどの値下がりがマイナスに影響しました。

○ ジェネリック医薬品業界において、品質面での優位性や生産能力の増強などを背景にシェア拡大が期待される医薬品株を買い付けしました。一方で、AI関連や新製品への期待が高まり、株価が上昇した精密機器株を売却しました。

## 今後の運用方針 (2026年3月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

## ○ 今後の投資環境

日本経済は、中東情勢の緊迫化による原油などのエネルギー価格高騰の影響が懸念されます。エネルギー価格上昇は、物価上昇や景気下振れなどのリスクを高めることとなります。2026年夏場にかけては、インフレ率上昇が実質所得を下押しするとみえています。また、エネルギー価格の高止まりや原油供給などの混乱の長期化は、企業の景況感悪化につながります。一方で、政府の中東情勢を踏まえた緊急的なガソリン価格抑制策や投資促進税制を含む官民連携投資促進策などが、経済成長率の下振れを緩和することが見込まれます。3月の日銀金融政策決定会合では政策金利の維持が決定されましたが、その後に発表された「主な意見」では、物価上振れリスクを重視し、利上げを選好するコメントが目立ちました。当社は、年央の利上げをみていますが中東情勢の落ち着きが前提条件となります。当社では、2026年の日本の実質GDP(国内総生産)成長率を前年比+0.6%と予想しています。

## ○ 今後の運用方針

個々の企業の収益力や成長力を見極め、中期的に最高益の更新が期待できる銘柄へ投資をしていく方針です。情報技術の活用により競争力を高めながら中期的に利益成長が期待できる企業や、安定した収益基盤を有し、株主還元強化が見込まれる企業に注目しています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。 )ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

**NOMURA 野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# 野村ジャパンドリーム(野村SMA・EW向け)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。